

# デッキ材 パルクルイエ 施工説明書

## 1 パルクルイエについて

竹と再生プラスチックで作られた環境に優しいデッキです。メンテナンスが簡単で、天然木デッキに必要な研磨や塗装といった手間は必要ありません。

表面は木目を模しており、裏面は流木調の仕上げになっています。自然な模様が、木材の雰囲気を表現しています。有害物質や防腐剤を含まないため、環境にとってより安全で、紫外線や、退色、汚れに強いため、長期に渡ってデッキの状態を保つことができます。素足にやさしく、ひび割れにくく、傷がつきにくいため、安心です。HDPEよりも硬く、木材デッキよりも微生物の影響を受けにくく、WPCよりも耐カビ性と耐湿性に優れている為、寿命が長いのも利点です。高性能の竹複合材は、従来のWPCよりも優れた性能とライフスタイルを提供します。

### ■ 部材

デッキ材:T20×W140×L2000 (mm) 1箱3本入り

線形熱膨張係数  $40.1 \times 10^{-6}$  ( $\text{mm}^{-1} \text{ }^{\circ}\text{C}^{-1}$ )



木目を模した面



流木調の面



側板:T12×W150×L2000 (mm) 1箱3本入り



木目を模した面



流木調の面



### ■ 専用留め付け金具等

- ①リレークリップ&星型トルクスネジ(木製根太用) 1パック60セット入り
- ②スタートクリップ(ネジは、星型トルクスネジ又は十字ネジをお選びください。) 1パック10個入り
- ③上:星型トルクスネジ・下:十字ネジ(いずれも木製根太用)
- ④星型トルクスピット(ご希望のお客様に無償でお送り致します。)



※使用方法については、  
P4をご確認ください。



※上記のビスは木製根太用のため、鋼製根太をご使用予定の際は、都度お問い合わせください。

## 2.施工前の準備

### 工具について

- ・切断、穴空け、取り付けは木製デッキを施工する際と同様の工具をお使いいただけます。
- ・切断の際は超硬チップソーのご使用をおすすめします。

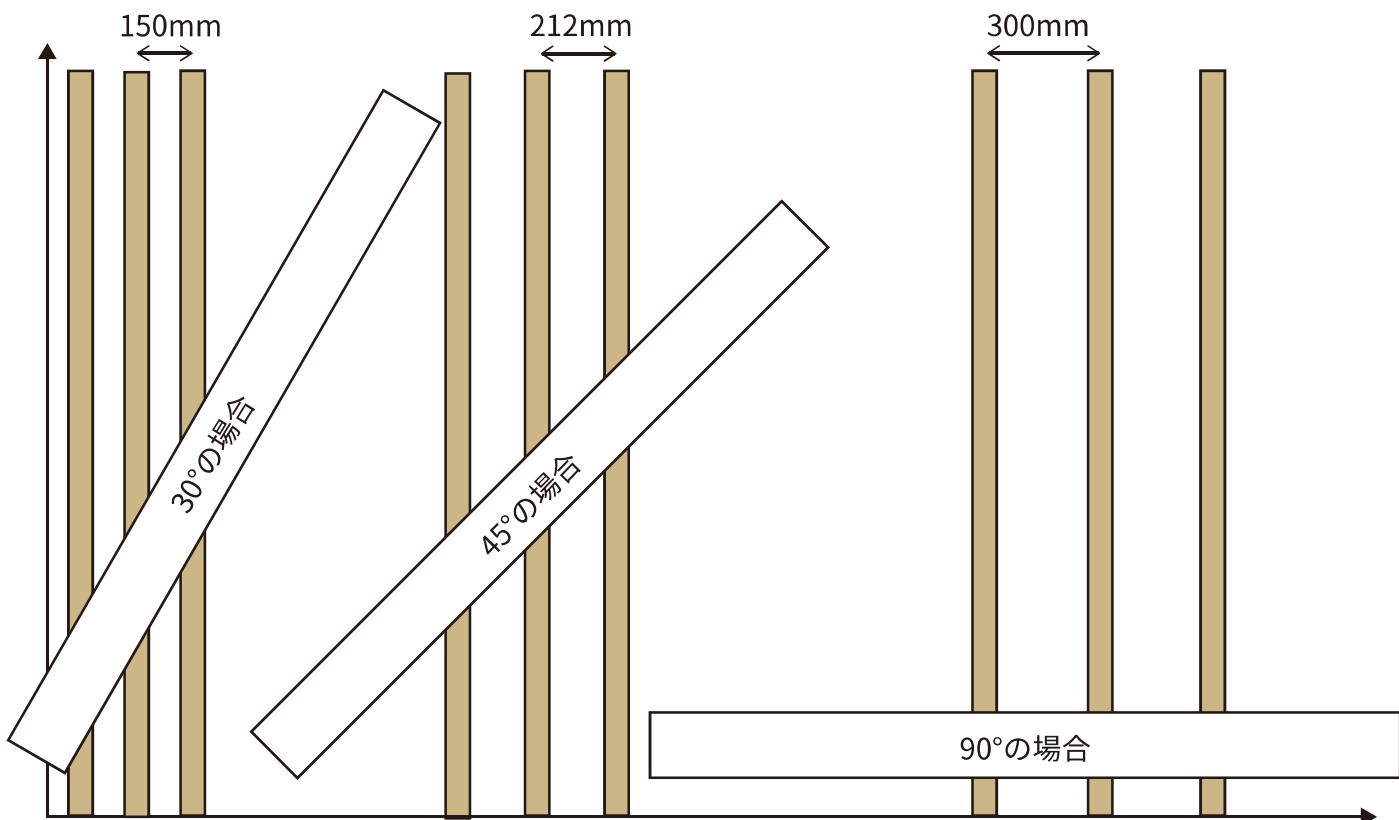
### 下地の準備について

- ・下地は1000mm当たり10mmの水平勾配を取ってください。
- ・常時デッキの下に水が溜まることないように配慮してください。
- ・デッキは勾配のついた平滑な土間に束・根太を取り付けるか、プラ束を使用して施工してください。
- ・土間でない場合は突き固めた地面の上でも施工ができますが、束の沈下防止のために水平を取った束石の上に、束を取り付けて下さい。

### 根太の設置について

- ・デッキ材の通気を確保するためにデッキは地面に直接施工しないでください。
- ・根太は断面寸法で50mm角以上のハードウッド材を使用してください。
- ・根太を配置する際は下記の根太ピッチを守ってください。

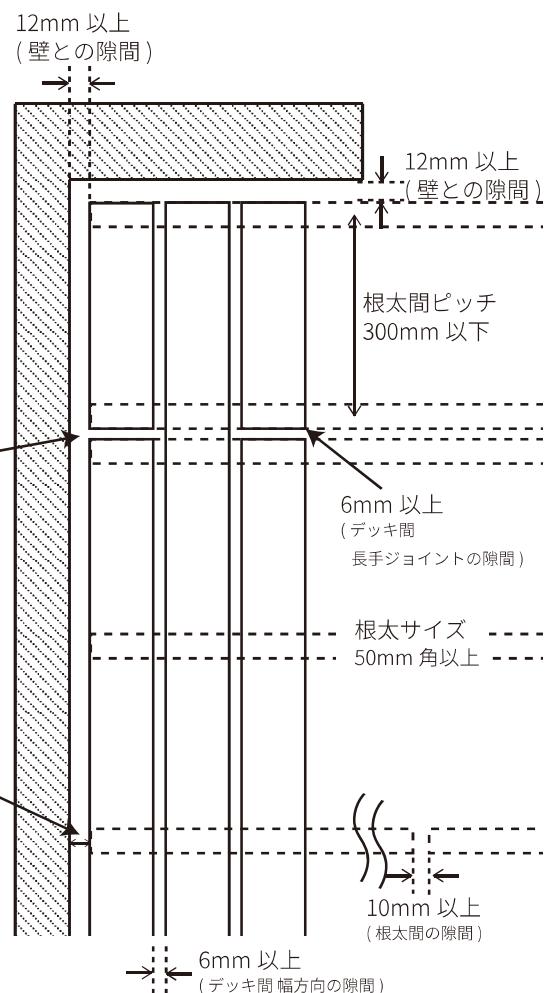
デッキ材と根太の交差角	90°	45°	30°
根太ピッチ	最大 300mm	最大 212mm	最大 150mm



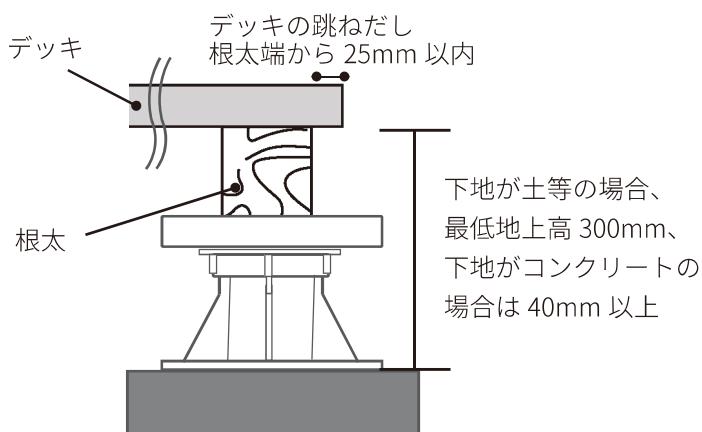
### 3.根太とデッキの設置

#### 根太の設置

- 根太の継手は木口同士で最低 10mm、建物の外面からは 12mm 程離してください。この隙間は適切な排水と、季節によって発生する材の収縮に対応するため必要です。
- 土間が完全に平滑でない場合は プラ束(マルチポスト)などをご使用ください。  
但し束ピッチは最大 30cm としてください。
- デッキの材ジョイント部分は、ダブル根太にして施工してください。
- デッキ材の木口部分は、根太の上に配置し荷重ストレスをなくすために、必ずビスで固定してください。

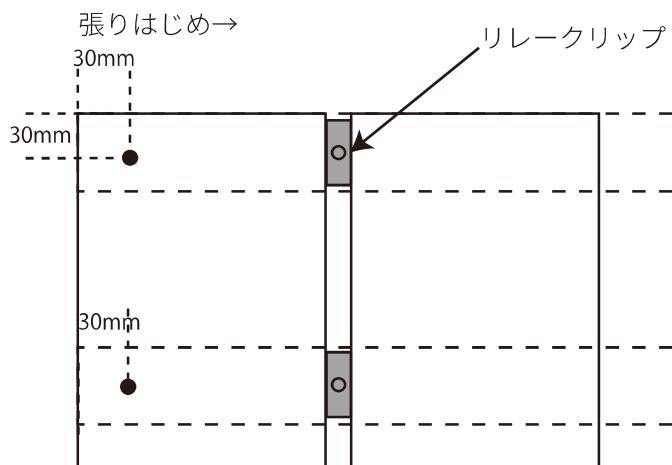


#### デッキの設置



- デッキの末端部は 25mm を超えて張り出さないようにしてください。
- 地面からデッキまでの高さは、下地が土等の場合は最低地上高 300mm、下地がコンクリートの場合は 40mm 以上の高さを設けてください。

#### 【張りはじめと張りじまいを脳天打ちする場合】



- 張りはじめと張りじまいのデッキ端部をビス留めする際は、下穴をあけて留めてください。
- ビス留めの位置は端から 30mm 以上あけてください。
- 2 枚目以降は、リレークリップで固定していきます。

## 【スタートクリップの納まり】

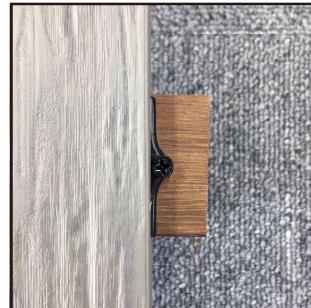
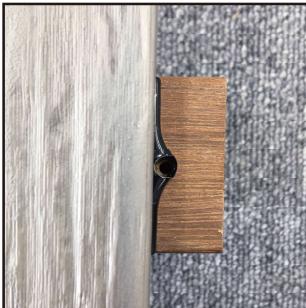
- ・張りはじめと張りじまいに、スタートクリップを使用する場合は、以下のような納まりになります。専用のスタートクリップは、根太端部に垂直には納まらないため、この点をご理解いただいた上でご使用ください。



①下穴をあける。

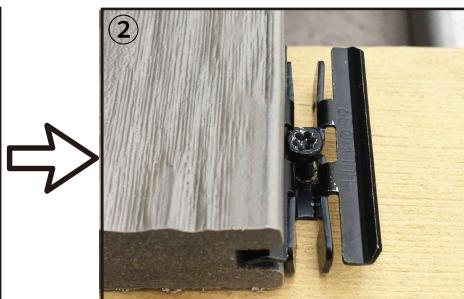


②スタートクリップはこのように留める形となります。



## 【リレークリップでの固定方法】

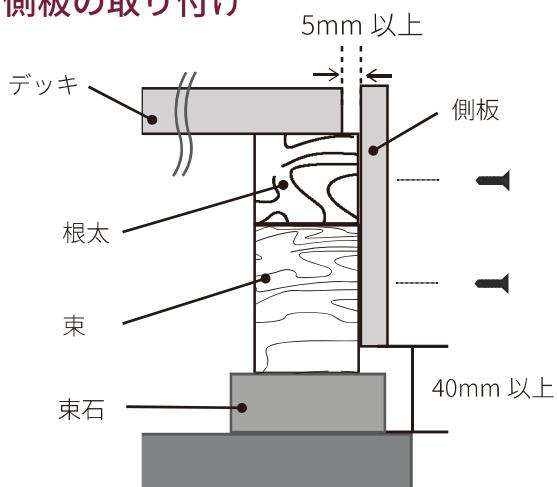
- ・デッキとデッキの間は、リレークリップで固定してください。  
①爪のついている方を先にデッキにはめ、②ビスで固定し、③次にクリップの傾斜のついている側から2枚目のデッキをはめ込みます。④クリップの上の部分でネジの頭が固定されるよう、トルクの強さにご注意ください。最後から2列目のデッキまで、この手順を繰り返します。張りじまいは張りはじめと同様に、下穴をあけて、ビスで固定してください。



←クリップの向きは  
左図のようになります。



## 側板の取り付け



・側板は、デッキから5mm以上の隙間をあけて取り付けてください。

・側板を取り付ける場合は、通気確保のため、地面から40mm以上あけてください。

## 4.メンテナンスと注意事項

### メンテナンスについて

デッキ材のメンテナンスは1年に1回程度行ってください。

- ・デッキの洗浄は長手方向にデッキブラシで水洗いを行ってください。
- ・汚れやカビの洗浄には中性洗剤をご使用してください。
- ・メンテナンスには溶剤ベースのクリーナーなどは使用しないでください。また、着色、染色、オイル塗装などはしないでください。
- ・高圧洗浄機のご使用も表面に傷をつけてしまう恐れがありますので、ご使用方法にご注意ください。

### 保管とお取り扱いについて

- ・平らで風通しの良い場所で適切に桟木を置いて保管して下さい。日焼けによる変色を防ぐために表面同士を合わせて保管してください。重量がありますのでお取り扱いにご注意ください。

### 施工時の注意事項

- ・屋上などの排水溝がある場合は点検口、清掃口を設けてください。
- ・点検口の枠部分は木製または鉄製としてください。
- ・点検口とデッキ材の間の隙間は1cm以上あけてください。
- ・床に直接、柱や照明塔、目隠しなどを取り付けないでください。
- ・床を切り欠いて柱や照明塔を設置する際にもデッキ材の伸び代を考慮してください。
- ・プール周りの縁は側板の設置はおすすめできません。できるだけ縁石で納めてください。

### 施工後の注意事項

- ・施工後、経年変化によりデッキ材の色は若干変色しますので追加発注などをされた場合には若干の色差が生じる場合があります。新しく施工されたデッキ材も次第に色が馴染む様になりますが、完全に一致する訳ではありませんのでご了承ください。
- ・また、製造時期やロット違いなどにより色が若干変化することがございますのでご了承ください。
- ・強い直射日光で表面温度が高温になる場合がありますのでご使用される場合は、充分注意してください。
- ・本製品の上に高温の物を置くと、燃焼や変形の原因になりますので絶対に止めてください（バーベキューなども厳禁です）。
- ・雨などで濡れたときに滑りやすくなる場合がありますので、歩行などにはご注意ください。
- ・重量物を置く場合は、荷重が大きな面積に分散するように大きな板などの上に置くようにしてください。
- ・重量物を落とさないようにしてください。衝撃で割れや凹みが発生する場合があります。
- ・傘などの先端の尖った物で突かないでください。また、脚立などの先端の細い部分に荷重がかかるような状態で、ご使用にならないでください。破損、変形の恐れがあります。
- ・本製品に灯油やガソリン、有機溶剤が付着した場合は直ぐに拭き取ってください。
- ・空き缶や鉄製の物を直接置いて長期間放置しないでください。鉄さびなどで染みになる場合があります。
- ・強い衝撃を与える様な行為はしないでください（高所からの飛び降りなど）。怪我や製品破損の原因になります。
- ・暴風雨や地震などの異常天候後に破損や安全に支障をきたす異常がないか点検を行ってください。
- ・材質上、浸透性が無いため表面張力により水分が残ってしまうことがあります。  
降雨後にデッキをご使用される場合にモップ等で水を拭き取る事をおすすめします。
- ・冬期にその水分が凍結する場合がありますので、充分注意してください。

## 5.保証について

保証期間：施工完了後 2年

### 【免責事項】

- 1.不適切な施工による、あるいは当社が示す施工説明書に従っていない施工方法により起きる問題（指定のギャップを取っていないことや、浸水やデッキ下に水が溜まった状態が続く場所、四方壁で通気ができない環境など、排水や湿気がこもらないような対策を怠った場合を含む）。
- 2.通常の使用条件から逸脱した使用方法、あるいは当社が示すガイドライン上で推奨しない使い方をした場合。
- 3.製品が施工された下地構造の沈下、傾き、動き、崩壊などに起因する問題。
- 4.洪水、ハリケーン、台風、地震、雷などの自然災害、あるいは大気汚染、カビ、コケ、菌類などの環境による問題、泥、グリース、オイルなどの外部物質による汚染、あるいは通常の気象条件で起きる日光の照射などに起因する退色や泥などの汚れの沈滞や染みなど。
- 5.色の変化。
- 6.購入者、施工者あるいは運送者による不適切な取り扱い、保管方法に起因する問題。
- 7.通常起こりうる、摩耗や消耗。

アイオーシー株式会社

〒461-0004

名古屋市東区葵1-6-7-3F

TEL:052-931-3337 FAX:052-930-3502

〒107-0062

東京都港区南青山6-10-18

トライアングル南青山ビルB1F

